

市民生活・高齢者に安心を

少子高齢化が進行している朝来市として、健康で安全な暮らしを積極的に推進します。

あさご健康・医療相談 ダイヤル24

市民の急な病気やケガなどの医療相談をはじめ、健康、介護、育児、メンタルヘルスなどの相談、最新の夜間・休日の医療機関の案内等を、24時間年中無休、通話料無料、相談料無料の電話相談サービス事業を実施し、若い世代から高齢者まで、安心して生活できる環境づくりを提供します。

予算額 337万円



24時間通話料無料の健康に関する電話相談がスタート

がん予防体制の強化

新規事業として、40歳から60歳を対象とした働く世代への大腸がん無料検診を実施します。また、女性特有のがんのうち子宮がん検診と乳がん検診の無料実施と、子宮頸がん予防のため中学生と高校生を対象に子宮頸がん予防ワクチンの全額公費助成を行い、市民の健康を守る取組みを推進します。

予算額 3811万円

障害福祉サービス事業所

平成22年度において市内小規模作業所などの再編を完了し、本年度から障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス事業所として就労継続支援事業、生活介護事業、児童デイサービス事業等新たなサービスを提供し、障害者の自立につながる事業を進めます。

予算額 4億1385万円

地上デジタル完全移行に伴う施設整備と相談窓口

本年7月の地上デジタルの完全移行に伴う施設整備と市民からの問い合わせなどに迅速に対応するため、専門スタッフの配置や専用フリーダイヤル電話を設置して、相談窓口サービスを設置します。

予算額 1億6228万円

常備消防体制の強化

はしご付消防自動車の安全基準に基づき、はしご車のオーバーホールを実施し、中高層建築物火災等の消防活動に万全を期します。さらに、救急救命士や認定救急救命士の養成と、消防職員の各種研修機関への派遣を積極的に行い、時代に即応した消防・救急活動の推進に努めます。

予算額 2129万円

介護保険制度・保健事業

平成24年度から第5期介護保険事業計画期間となるため、本年度に第5期の介護保険事業計画を、市民代表を交えて策定します。

生野生活圏域の高齢者を対象に介護保険制度の利用や高齢者の総合的な相談、支援を行うため、生野地域包括支援センターを4月に開所します。

予算額 5億2157万円

路線バス等活性化対策

市民の足であるアコバス、路線バスを利用実態調査などを検証した上で、より効率的、効果的な運行が図れるように地域の実情にあった運行形態に改編していきます。

予算額 581万円



運行形態の改編を実施するアコバス